

京セラ株式会社 会社説明会

(証券コード6971)

2025年1月10日

執行役員
経営管理本部 財務部長
宮田 智子



1. 当社の紹介

2. サステナブル経営の実現に向けて

3. 株主還元

1. 当社の紹介

2. サステナブル経営の実現に向けて

3. 株主還元

創業



1959年

本社所在地



京都市

上場市場



東証プライム

売上高



2兆42億円

(2024年3月期)

税引前利益



1,361億円

(2024年3月期)

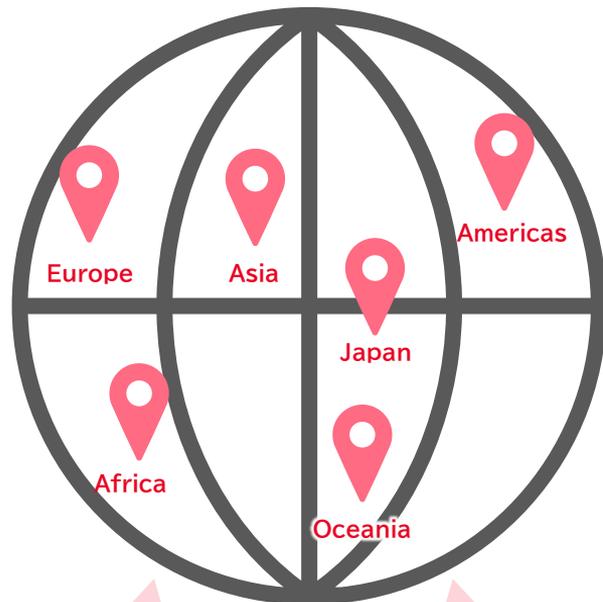
最低投資金額



約16万円

(2024年12月末現在)

世界の拠点

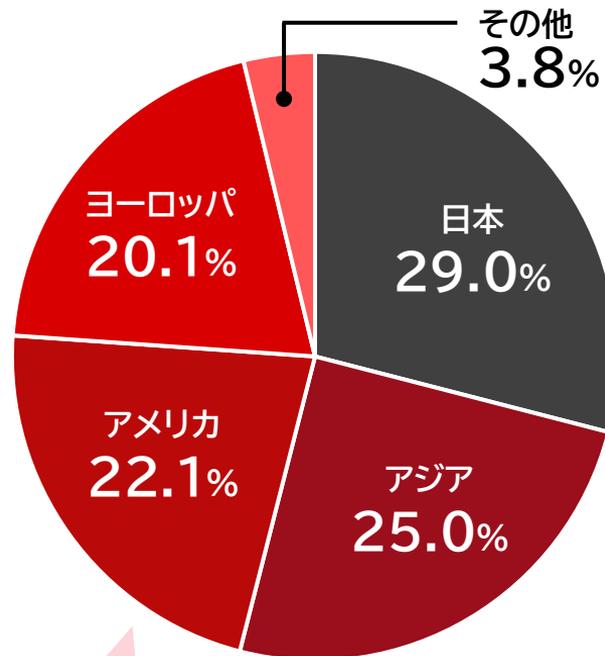


グループ会社*
293社

グループ従業員数
79,185名

* 京セラ(株)を含む

地域別 売上高構成比



海外売上高比率
約7割

(2024年3月末時点)

【社是】

敬天愛人

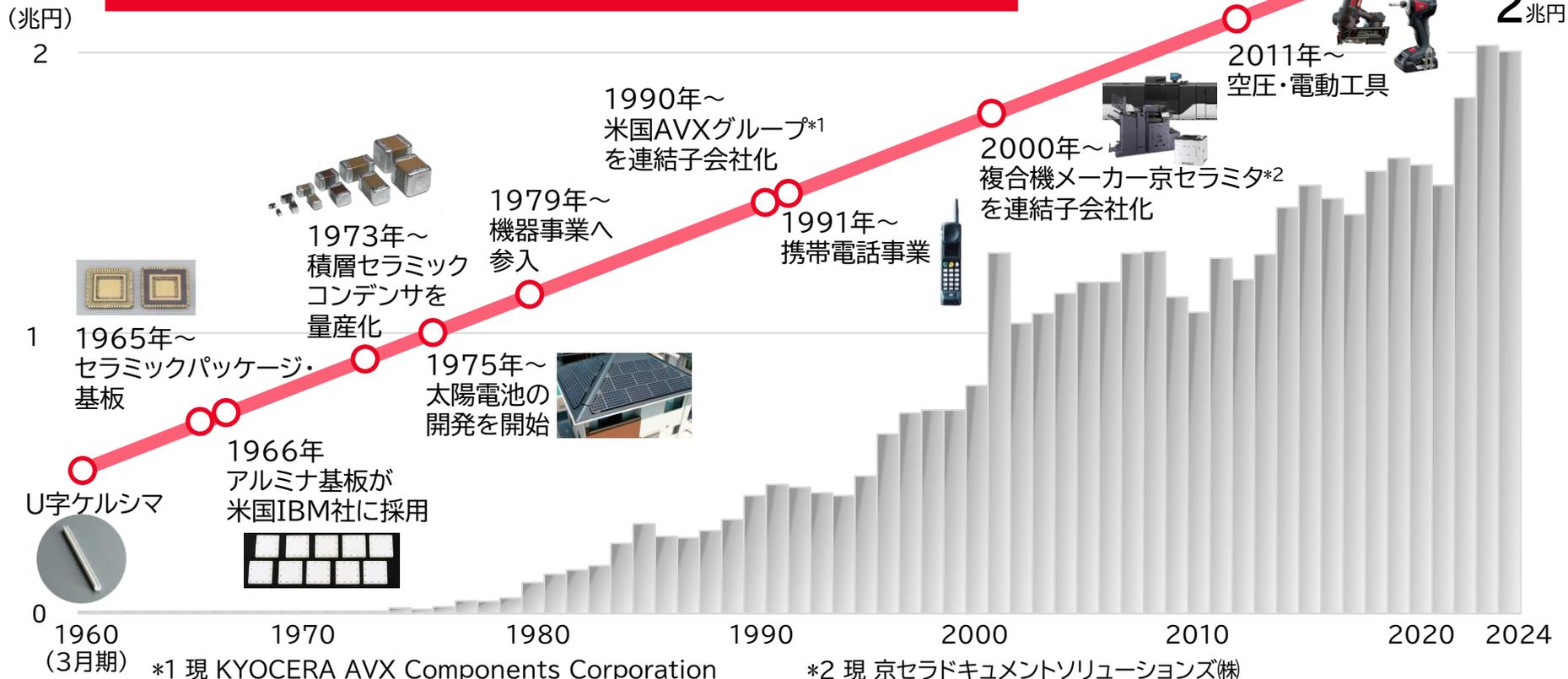
（敬天愛人）

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

【経営理念】

全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

2023年3月期に2兆円を突破



総資産
約**4.5**兆円

自己資本比率*
72.2%

(2024年3月期)

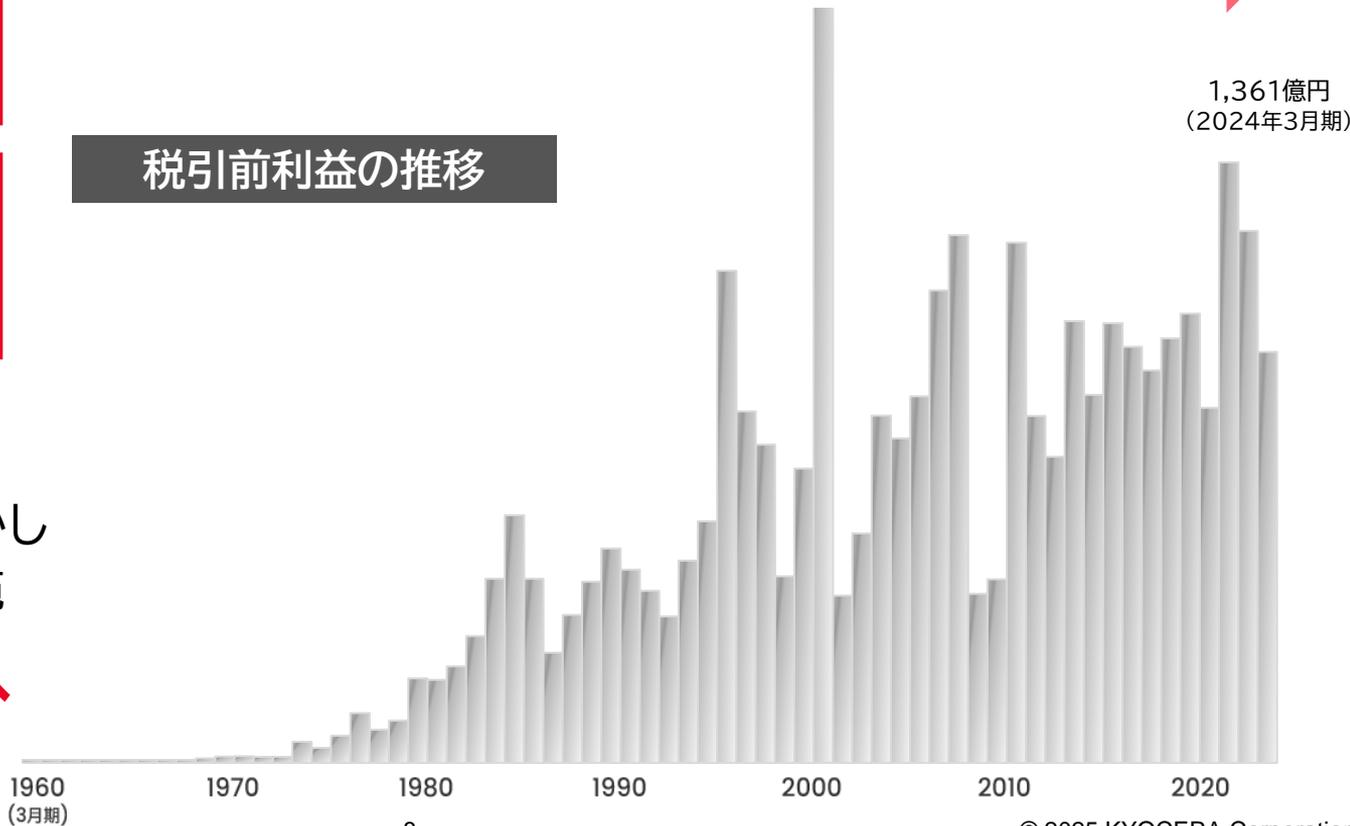


強固な財務基盤を活かし
積極的な投資を実施
今後の成長へ

創業以来 黒字経営を継続



税引前利益の推移



* 総資産のうち、親会社の所有者に
帰属する持分合計が占める割合

1960
(3月期)

1970

1980

1990

2000

2010

2020

機器・サービス事業

ソリューションセグメント

一般向けから各種産業向けに多種多様な製品・サービスを展開



複合機及びプリンター



空圧・電動工具



法人向け通信端末



情報通信サービス



切削工具



住宅用蓄電システム

部品事業

コアコンポーネントセグメント

電子部品セグメント

半導体、産業機械、自動車、情報通信関連市場、及び民生市場向けに幅広い製品を展開



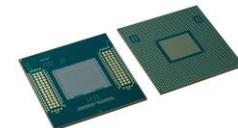
半導体製造装置用部品



車載カメラ



セラミックパッケージ



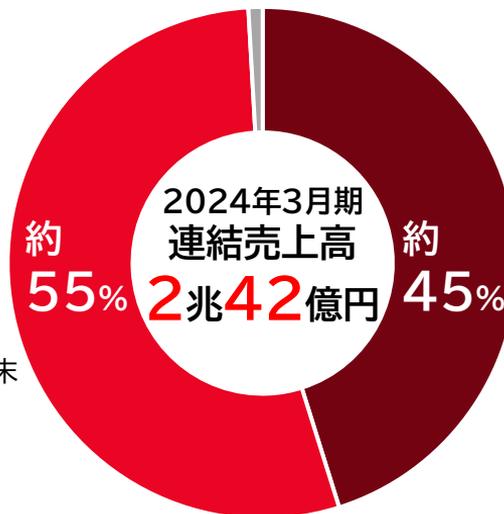
有機パッケージ



セラミックコンデンサ



タンタルコンデンサ



ファインセラミックスとは？

非金属・無機材料で、その製造工程において高温処理を受けたセラミックス(陶磁器、ガラス、セメントなど)の一種。

中でも高度に制御・調整された「化学組成」や「製造プロセス」によって製造され、特に高い材料特性や寸法精度を備えたものを指す。

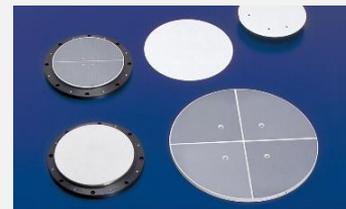


スマートフォンや自動車の必需品 半導体を作る立役者

プラズマが発生し、金属などが腐食する過酷な半導体製造装置において、ファインセラミック製品が採用されています。



ドーム・チャンバー



静電チャック



フォーカスリング

多種多様な産業を支える京セラ製品

半導体製造装置の他にも、スマートフォン等の民生品や自動車、教育、医療、航空宇宙など多種多様な産業で京セラの製品が活躍しています。



スマートフォン用部品



学習用タブレット



宇宙産業用部品



電気自動車用部品

自動車用部品



メディカル製品



デンタルインプラント



セラミックナイフ



真空断熱タンブラー



家庭向け電動工具 (DIYツール)



充電式クリーナー



高圧洗浄機

当社ウェブサイト 製品情報ページ
<https://www.kyocera.co.jp/prdct>



京セラ 製品 検索

1. 当社の紹介

2. サステナブル経営の実現に向けて

3. 株主還元



半導体市場の
中長期的な拡大



AIや5G/6G通信等
新技術の社会実装本格化



世界的な
環境意識の高まり



情報通信

＼特に当社部品事業への影響大／

- AI半導体の需要増
- AI搭載製品の普及



環境・エネルギー

＼特に当社機器・サービス事業への影響大／

- 環境配慮型製品の需要増
- 新たなソリューション登場



自動車関連

- EV/HEV市場拡大
- 運転支援機能の普及



医療・ヘルスケア

- 高性能医療機器の需要増
- 医療業界DXの進展

京セラが注力する4つの重点市場

部品事業（コアコンポーネントセグメント・電子部品セグメント）

AI半導体の需要増

≫ AI半導体/半導体製造装置用部品の受注拡大
(半導体パッケージ、半導体製造装置用ファインセラミック部品等)

AI搭載製品の普及

≫ AI搭載スマホ/パソコン用部品の受注拡大
(積層セラミックコンデンサ、スマホ部品用セラミックパッケージ等)

機器・サービス事業（ソリューションセグメント）

環境配慮型製品
の需要増

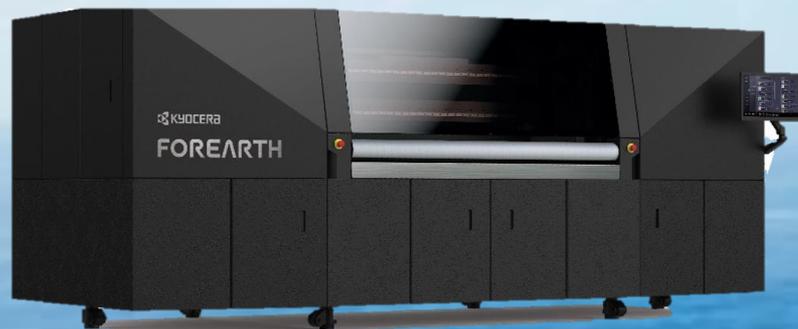
≫ 環境負荷を低減する新製品・サービスの積極展開
(捺染インクジェットプリンター、再生可能エネルギーサービス等)

新たな
ソリューション登場

≫ 独自技術を活かした新事業開発
(ミリ波中継器、協働ロボットを智能化するロボティックサービス等)

捺染インクジェットプリンター「FOREARTH*」

京セラがもつインクジェット技術を活かし、繊維・アパレル業界が直面する
水の大量消費、製品の在庫過多などの社会課題の解決に貢献



「FOREARTH」3つの特長

WATER FREE
CONCEPT

水の使用を
極限まで削減

CREATIVE
FREE

多彩な表現を
さまざまな生地へ

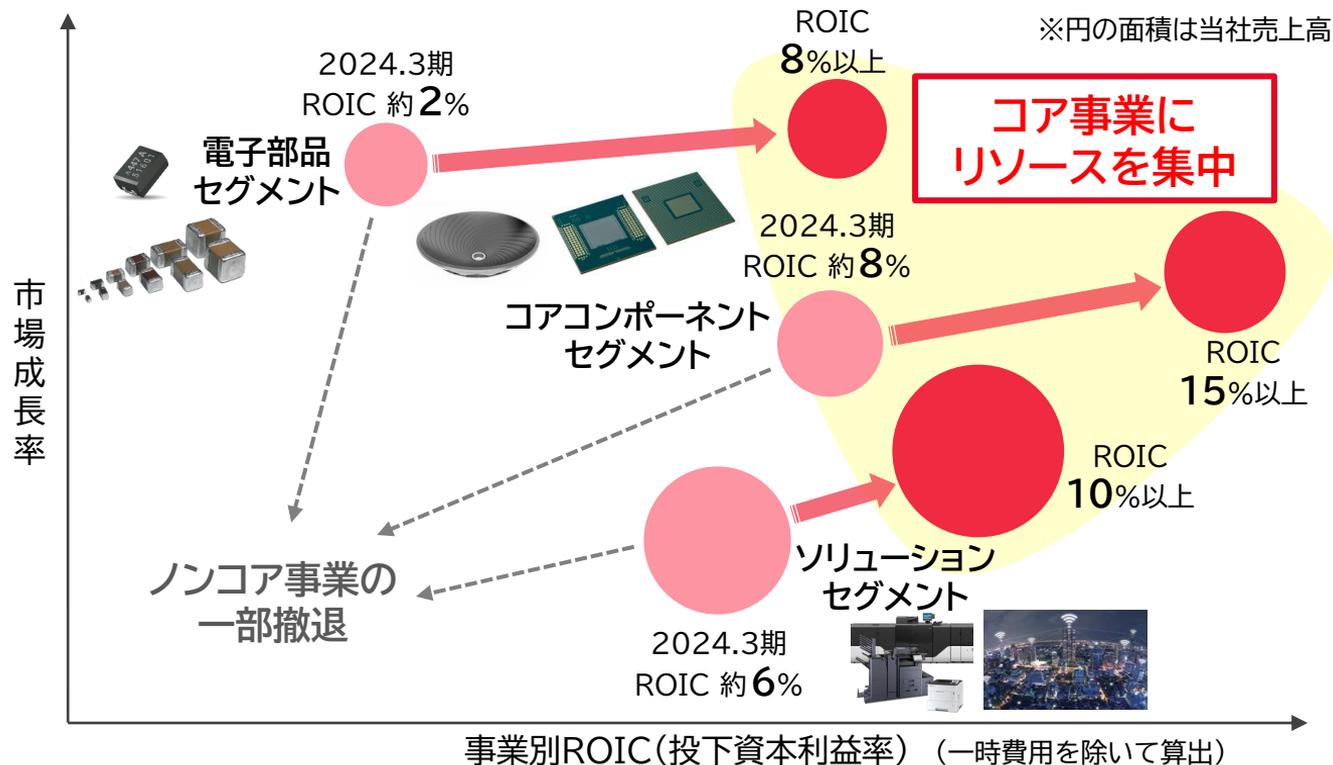
LOCATION
FREE

今ほしいデザインを
今すぐカタチに



*「FOREARTH」は、京セラ株式会社の登録商標です。

各セグメントの事業価値向上を通じて、 様々な経営環境変化に対応するサステナブルな事業ポートフォリオを構築



目標

京セラグループ
ROE 7%
PBR 1倍以上

更なる向上
を目指す

環境

● TCFDへの賛同(2020年3月~)



● 長期環境目標の設定・遂行

- ①温室効果ガス排出量(Scope1,2,3)
2031年3月期 **46%削減**(2020年3月期比)
- ②再生可能エネルギー導入量
2031年3月期 **20倍**(2014年3月期比)
- ③2051年3月期 **カーボンニュートラル**

- ✓再生可能エネルギーの導入促進
- ✓全社一丸となった省エネ推進

社会 (人的資本等)

● 人権の尊重

*Responsible Business Alliance
(責任ある企業同盟)

- ✓RBA*への加盟
- ✓ハラスメント・差別の禁止教育

● 働きやすい職場・現場作り

- ✓従業員エンゲージメントの向上
- ✓DEI(ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)の推進

女性管理職数と比率の推移(京セラ)



ガバナンス

- 取締役会の監督機能強化並びに取締役会及び監査役会の更なる多様化を促進

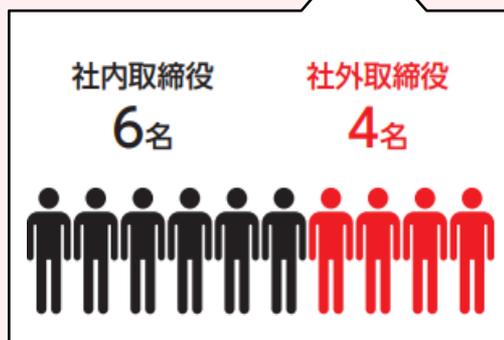
社外取締役比率

2024年6月
定時株主総会前

33%

現在

40%



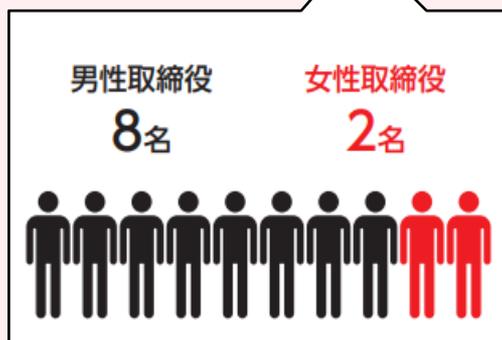
女性取締役比率

2024年6月
定時株主総会前

11%

現在

20%



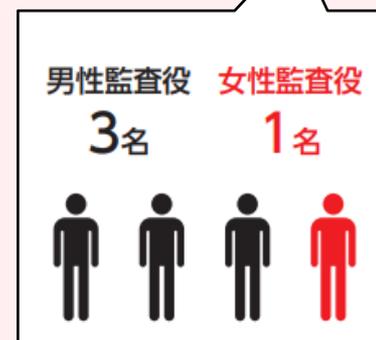
女性監査役比率

2024年6月
定時株主総会前

0%

現在

25%



CDP

- 環境分野において世界的に権威のある国際的非営利団体 CDPより、気候変動に関する活動が総合的に評価され、2020年、2021年、2023年は最高評価のAリストに選定



- また、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減活動が高く評価され2019年から「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に4年連続で選定



EcoVadis

- 世界160カ国以上、200業種以上に及ぶサプライヤー企業を対象に、「環境」、「労働と人権」、「倫理」、「持続可能な資材調達」の4分野で評価を行っている第三者機関 EcoVadisより、2022年から2年連続で「ゴールド」に格付け



プラチナくるみん

- 優良な子育てサポート企業として、2021年に「プラチナくるみん」の認定を取得



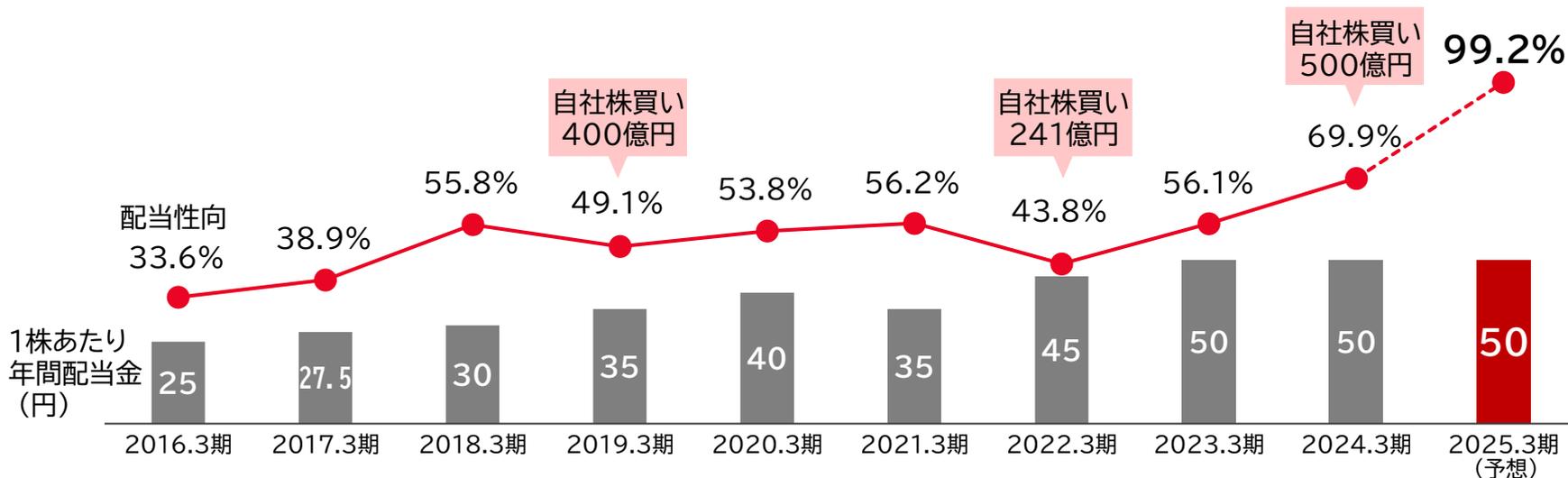
1. 当社の紹介

2. サステナブル経営の実現に向けて

3. 株主還元

配当と自社株買いを組み合わせた株主還元策

高水準の株主還元を維持



※全ての期において、2024年1月1日に実施した株式分割後の基準で算出しています。

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の事業に対するご理解をより深めていただくため、2つの制度をご用意しています。

継続保有株主様向け優待 (年1回)

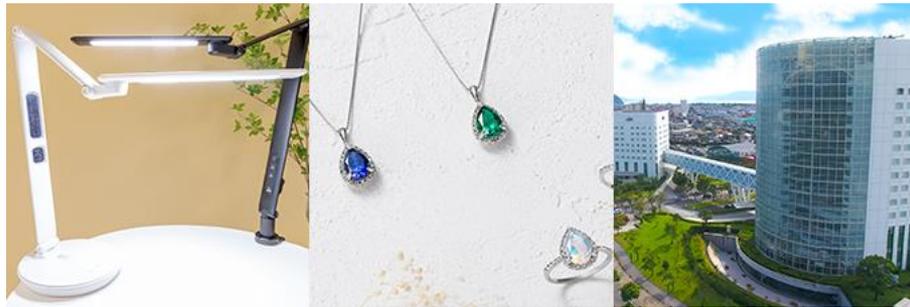
毎年3月31日時点の対象株主様に対し、
保有株式数と保有期間に応じて、
QUOカードまたはカタログギフトを進呈します。



※ 仕入れや在庫の状況によって商品が異なる場合がございます。

株主様向け通信販売 (年2回)

毎年3月31日・9月30日時点の全株主様に対し、
京セラグループの製品・サービスを
特別価格や特別企画にてご提供します。



※ ラインナップは変更されることがあります。

当社IRサイト

個人投資家の皆様に当社をわかりやすくご紹介するページをご用意しております。

●社長メッセージ



●京セラの強み

03 多種多様な独自技術



「個人投資家の皆様へ」ページ

<https://www.kyocera.co.jp/ir/individual/advantage/index.html>

IRメール配信サービス

決算発表やプレスリリース等のIR情報をタイムリーにメール受信いただけます。



IRメール配信サービス
登録フォーム

<https://www.kyocera.co.jp/ir/mail/magazine.html>

京セラギャラリー

主な収蔵品は、ピカソ銅版画347シリーズ、現代日本画、洋画、彫刻、中国清代の乾隆ガラス、ファインセラミック茶器です。これら収蔵品の一部を常設展示するほか、年に1～2回特別展を開催しています。



個人見学はご予約不要ですので
ぜひご来館ください。

<https://www.kyocera.co.jp/company/csr/facility/gallery/>

稲盛ライブラリー

創業者 稲盛和夫の人生哲学、経営哲学を中心に、技術者、経営者としての足跡や様々な社会活動を展示しています。



見学のご予約は予約サイトより
1週間前までにお申し込みください。

<https://www.kyocera.co.jp/inamori/library/tour-reservations/>

<ご参考>

2025年3月期 業績予想 (1)



(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 予想	増減金額	増減率
売上高	2,004,221	2,020,000	15,779	0.8%
営業利益	92,923 (4.6%)	68,000 (3.4%)	-24,923	-26.8%
税引前利益	136,143 (6.8%)	100,000 (5.0%)	-36,143	-26.5%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	101,074 (5.0%)	71,000 (3.5%)	-30,074	-29.8%
EPS(円)	71.58	50.40		
平均為替 レート	米ドル ユーロ	145円 157円	145円 155円	

注1:()内の数字は売上高比率
 注2: 2025年3月期予想のEPSは、
 2025年3月期上期の期中平均株式数を
 用いて算出

2025年3月期 業績予想 (2)

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期 予想	増減金額	増減率
設備投資額	161,684 (8.1%)	160,000 (7.9%)	-1,684	-1.0%
有形固定資産 減価償却費	111,724 (5.6%)	120,000 (5.9%)	8,276	7.4%
研究開発費	104,290 (5.2%)	120,000 (5.9%)	15,710	15.1%

注:()内の数字は売上高比率

2025年3月期 セグメント別売上高予想



(単位:百万円)

事業セグメント別 売上高	2024年3月期		2025年3月期 予想		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
コアコンポーネント	569,145	28.4%	559,000	27.7%	-10,145	-1.8%
産業・車載用部品	224,574	11.2%	234,000	11.6%	9,426	4.2%
半導体関連部品	314,649	15.7%	291,000	14.4%	-23,649	-7.5%
その他	29,922	1.5%	34,000	1.7%	4,078	13.6%
電子部品	352,277	17.6%	350,000	17.3%	-2,277	-0.6%
ソリューション	1,101,625	54.9%	1,132,700	56.1%	31,075	2.8%
機械工具	310,740	15.5%	313,700	15.5%	2,960	1.0%
ドキュメントソリューション	452,162	22.5%	480,000	23.8%	27,838	6.2%
コミュニケーション	224,403	11.2%	229,000	11.3%	4,597	2.0%
その他	114,320	5.7%	110,000	5.5%	-4,320	-3.8%
その他の事業	17,680	0.9%	15,300	0.7%	-2,380	-13.5%
調整及び消去	-36,506	-1.8%	-37,000	-1.8%	-494	—
売上高	2,004,221	100.0%	2,020,000	100.0%	15,779	0.8%

2025年3月期 セグメント別利益予想



(単位:百万円)

事業セグメント別 利益	2024年3月期		2025年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
コアコンポーネント	57,226	10.1%	38,000	6.8%	-19,226	-33.6%
産業・車載用部品	26,409	11.8%	25,000	10.7%	-1,409	-5.3%
半導体関連部品	30,375	9.7%	12,000	4.1%	-18,375	-60.5%
その他	442	1.5%	1,000	2.9%	558	126.2%
電子部品	6,521	1.9%	1,000	0.3%	-5,521	-84.7%
ソリューション	69,841	6.3%	80,000	7.1%	10,159	14.5%
機械工具	16,837	5.4%	18,700	6.0%	1,863	11.1%
ドキュメントソリューション	43,940	9.7%	48,000	10.0%	4,060	9.2%
コミュニケーション	6,964	3.1%	7,600	3.3%	636	9.1%
その他	2,100	1.8%	5,700	5.2%	3,600	171.4%
その他の事業	-41,049	—	-50,000	—	-8,951	—
事業利益 計	92,539	4.6%	69,000	3.4%	-23,539	-25.4%
本社部門損益等	43,604	—	31,000	—	-12,604	-28.9%
税引前利益	136,143	6.8%	100,000	5.0%	-36,143	-26.5%

将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。



京セラ株式会社